

岡原子力委員会委員長の海外出張報告

令和元年10月15日

1. 出張先 オーストリア共和国（ウィーン）、フランス（ビュール、シェルブール）
2. 出張期間 令和元年9月15日（日）～22日（日）
3. 渡航目的 ウィーンで開催される第63回国際原子力機関（IAEA）総会に出席し、IAEAの幹部、各国の原子力関係者との意見交換を行う。その後、フランスを訪問し、ANDRA ビュール地下研究所等及びラ・アーク再処理工場の視察、関係者との意見交換を行う。
4. 主要日程 9月15日（日）東京発 → ウィーン着
15日（日）～17日（火）
IAEA総会出席及び各国原子力部門要人との会談
ウィーン発 → パリ着
18日（水）パリ発 → ナンシー着
ANDRA ビュール地下研究所等視察
19日（木）ナンシー発 → シェルブール着
20日（金）ラ・アーク再処理工場視察
シェルブール発 → パリ着
21日（土）パリ発 → 東京着（22日（日））

5. IAEA 総会

第63回総会はメキシコのアリシア・マシュー女史を議長に選んで、開催された。フェルータ事務局長代行が、原子力平和利用のためのIAEAの役割の重要性などを述べた。国連事務局長のメッセージが紹介された。故天野事務局長の追悼決議が提出され、竹本直一大臣が日本政府を代表して発言した。その後、各国の演説が行われた。

米国はペリー長官が、トランプ大統領の、「米国は北朝鮮とイランの核の脅威への対応を続ける。IAEAの役割が重要である。核不拡散条約は核兵器の拡散を防いできた等」のメッセージを紹介し、核不拡散と原子力平和利用の重要性を述べた。

日本は竹本直一大臣が、北朝鮮の核問題、イラン核合意、日本の原子力政策について日本政府代表演説を行った。

各国の演説原稿はIAEAのホームページに掲載されている。

5. IAEA総会参加の各国要人との会談

竹本直一大臣の、ゴードン・ハガティ米国国家安全保障局長官、フェルータ IAEA 事務局長代行、ジャック仏国原子力代替エネルギー庁長官とのバイ会談に出席した。

会議のマージンで、IAEA 原子力発電部と、総会に参加した英国ビジネス・エネルギー産業戦略省、インド原子力委員会、中国原子力庁の方々と面談した。

6. フランス訪問

フランスの放射性廃棄物管理機関 ANDRA のビュール地下研究所を視察し、関係者と意見交換した。

オラノ社のラハーグ再処理工場と UP2-400 再処理工場の廃止措置を視察し、関係者と意見交換した。